

令和 6年度予算見積調書

課室名：生産振興課
 担当名：総務・野菜担当
 内線：4133

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P61	あまかおべにべに倍増作戦展開事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	令和6年度～令和10年度	根拠法令	無し			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	8, 9, 13
							1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	8-2, 9-5, 13-2
1 事業概要	アグリテックの活用や新技術養液灌水装置を備えた実とり苗生産施設の整備を支援するとともに、栽培施設への遮光技術の導入を支援し、美味しく高品質な県育成品種のいちごの栽培面積の倍増を図る。 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 9,980千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 45,750千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 9,980千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 45,750千円 (ア) 実とり苗生産施設整備事業 27,000千円 (イ) 品質・食味確保栽培施設強化事業 18,750千円 (2) 事業計画 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 アグリテックによるセル苗生産試験、生産されたセル苗の現地栽培実証、収穫物調査 苗の安定供給体制の検討 品質・食味維持向上のための活用支援 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 (ア) 実とり苗生産施設整備事業 県育成品種の実とり苗を生産するために必要な施設の整備支援 (イ) 品質・食味確保栽培施設強化事業 栽培面積を拡大する上で、品質・食味および安定した出荷量を維持して生産するため、高温対策として必要な遮光資材の整備 (3) 事業効果 育苗施設の支援と新技術による苗生産等により必要な苗が確保され、県育成いちご品種の栽培面積が倍以上になる。 県育成品種の新規の栽培要望にも対応できる。 県育成品種のいちごが、品質・食味が安定して生産される。 【活動指標アウトプット】 新技術養液灌水装置を備えた育苗施設の整備 12件/年 栽培施設用の遮光資材整備支援 25件/年 【活動指標アウトカム】 R5年産12.7ha→R9年産31.9ha					
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ (県1/2)市0・事業主体1/2								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	人件費(既存分) 9,500千円×1.0人=9,500千円 人件費(増員分) なし 組織の新設・改廃 なし								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	55,730							55,730	55,730
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	あまかおべにべに倍増作戦展開事業		
単位事業名	あまかおべにべに拡大体制強化事業	予算額	9,980千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	9,980	9,980	
合計	9,980	9,980	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	378	378	セル苗現地実証の調査に係る旅費
需用費	3,710	3,710	消耗品3,001千円、燃料費346千円、光熱水費363千円、
役務費	94	94	通信運搬費94千円
委託料	4,800	4,800	委託費4,800千円
使用料及び賃借料	50	50	会場使用料50千円
備品購入費	948	948	備品購入費948千円
合計	9,980	9,980	

単位事業名	あまかおべにべに生産施設整備事業	予算額	45,750千円
-------	------------------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	45,750	45,750	
合計	45,750	45,750	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	45,750	45,750	育苗生産施設整備3,000千円×1/2×10人、育苗・供給苗生産施設整備支援12,000千円×1/2×2人 遮光資材等整備支援1,500千円×1/2×25人
合計	45,750	45,750	